

## 原料費調整制度に基づく2023年2月検針分のガス料金について

(東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2023年2月検針分の単位料金を調整した結果、2023年1月検針分と比べ、1m<sup>3</sup> (45MJ) につき20.38円 (消費税込) 下方に調整いたします。

なお、2022年9月～2022年11月の平均原料価格が145,400円/t (2023年2月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を145,400円/tとしてガス料金の調整を行っております。

また、2023年2月検針分より、経済産業省の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」<sup>\*1</sup>にて支援される補助金により、30円/m<sup>3</sup>の値引きを行います。

これにより、1ヵ月に30m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で2023年1月検針分と比較して、611円 (消費税込) ガス料金が下がります。なお、経済産業省の補助金適用前との比較では、900円 (消費税込) ガス料金が引き下げられています。

2023年2月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

\*1 詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」 (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>) をご覧ください。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)					
	料金表A 0～20m <sup>3</sup>	料金表B 21～80m <sup>3</sup>	料金表C 81～200m <sup>3</sup>	料金表D 201～500m <sup>3</sup>	料金表E 501～800m <sup>3</sup>	料金表F 801m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	193.80	178.95	176.75	173.45	164.65	156.95
(参考) 補助金適用前 調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	223.80	208.95	206.75	203.45	194.65	186.95
(参考) 1月 調整単位料金	214.18	199.33	197.13	193.83	185.03	177.33

### 2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 30m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> ) 適用料金(円/月)	(消費税込)			【参考】補助金適用前	
	2023年1月	2023年2月 <sup>*2</sup>	増減	2023年2月 適用料金	補助金適用 前後の差
	7,035	6,424	▲ 611	7,324	900

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量 (2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を差し引いた金額となります。

\*2 補助金適用により、30円/m<sup>3</sup>値引きされています。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年8月～2022年10月の平均 (1月検針分)	2022年9月～2022年11月の平均 (2月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	150,190	149,370	▲ 820
LNG	152,790	152,010	▲ 780
LPG	98,160	96,760	▲ 1,400
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	92,900	92,100	▲ 800

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && \frac{152,010}{96,760} \times 0.9479 \\ + & \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && \frac{96,760}{96,760} \times 0.0546 \end{aligned}$$

149,373.37

↓(10円未満四捨五入)

149,370 円/t (調整上限145,400円/t)

##### ■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} & \frac{145,400}{(調整上限)} \text{円/t} - \frac{57,250}{(調整上限)} \text{円/t} = \frac{88,150}{(調整上限)} \text{円/t} \\ & \downarrow(100円未満切捨て) \\ & \frac{88,100}{(調整上限)} \text{円/t} \end{aligned}$$

##### ■単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \frac{88,100}{100} \text{円} \quad /100 \text{円} \times 0.0891^{*3} \\ (\text{補助金適用前}) & \\ &= \frac{78.49}{100} \text{円}^{*4} \end{aligned}$$

\*3 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

\*4 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

##### ■単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\text{単位料金調整額} = \frac{78.49}{100} \text{円} - 30 \text{円} = \frac{48.49}{100} \text{円}$$

(補助金適用後)

#### <標準家庭における影響>

1ヵ月のご使用量 30m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> ) 適用料金(円/月)	(消費税込)		
	2023年 1月	2023年 2月 <sup>*2</sup>	増減
	7,035	6,424	▲ 611

#### 【参考】補助金適用前

2023年 2月 適用料金	補助金適用 前後の差
7,324	900

#### ・標準家庭料金の計算方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,056.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(130.46円)} + \frac{48.49}{100} \text{円} \times 30 \text{m}^3 \\ &\text{料金改定時の基準単位料金(税込) } \uparrow \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

#### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金 (ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価) を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格 (57,250円/t) 」と「平均原料価格 (料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定) 」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0891円 (0.081円に1.1 (消費税) を乗じた値) 単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が145,400円 (2023年2月分に適用される調整上限) を超えた場合には、「平均原料価格」は145,400円としてガス料金の調整を行います。